

別記様式 1

調査報告書					
施設名称 ：					
調査者 ：					
大項目	項目		基準値等	調査結果	考察
材料 劣化	構 造 軀 体	強度	平均値が F_c 以上		
		中性化深さ (外壁)	耐用年数+20年時点で 屋外 $C_i < D_d$ 屋内 $C_i < D_d + 20$ C_i ：測定した中性化深さの平 均値 (mm) D_d ：鉄筋のかぶり厚さ (mm)		
		塩分濃度	耐用年数+20年時点で C_{lim} 以下 C_{lim} ：腐食発生限界塩化物イ オン量 (kg/m^3)		
		コンクリートのひび 割れ及び欠損・剥落	鉄筋腐食やアルカリ骨材反応 を原因とする、 または構造上の問題に起因す るひび割れ及び欠損・剥落が 生じていない。		
構造 不具合	建物の沈下		変形角が $1/500$ 未満		
	壁あるいは柱の傾斜		$1/500$ 未満		

外観目視 調査結果 (屋上を含む)	
-------------------------	--



【税法上の耐用年数を超えた使用に関する考察】
--

補強コンクリートブロック造庁舎 長寿命化診断評価表

整理番号	建物名称		評価日	年 月 日～ 年 月 日
	所在地		評価者	・
			(職・氏名)	・
			現地調査	年 月 日～ 年 月 日

1. 資料調査 (現行基準への適合状況)

✓ ←チェック画像 (コピーして使用可能)

建物諸元	評価項目								摘要条件・判断基準	
	設計年月	年 月 日		竣工年月	年 月 日		経過年月	年 月 日	一体としている場合は建物全体で、独立させている場合は部分毎に判断	
	改修および増改築履歴	<input type="checkbox"/> あり 年 月：(内容) <input type="checkbox"/> あり 年 月：(内容) <input type="checkbox"/> なし 年 月：(内容)						経過年月		年 月 日
								年 月 日		年 月 日
								年 月 日		年 月 日
	増築形式	増築ありの場合 <input type="checkbox"/> 全体を一体とした増築 <input type="checkbox"/> exp.j等で既存部と増築部を構造的に独立させた増築								
	補修履歴	<input type="checkbox"/> あり m <input type="checkbox"/> あり 年 月：(内容) <input type="checkbox"/> なし 年 月：(内容)						経過年月	年 月 日	
	建物用途				建物用途変更履歴					
	面積・階数	建築面積	0.00㎡		延べ床面積	0.00㎡		階数	地上 階/地下 階	階数は3以下
		各階面積	(壁長さ計算用)	1階床面積	0.00㎡		2階床面積	0.00㎡		
	高さ	軒高さ	0.000 m	最高高さ	0.000 m	1階階高さ	0.000 m	2階階高さ	0.000 m	階高さは3.5m以下
	設計図書	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 現地で容易に耐力壁を確認可能 / (改修・増改築時図書) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり								設計図書有り
	構造形式	<input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックと他の構造 (木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など) を併用した構造								コンクリートブロック造
	基礎形式	<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 束建て基礎 <input type="checkbox"/> 外周のみ布基礎 <input type="checkbox"/> 連続した布基礎または地中梁のある基礎 (杭基礎を含む)								連続した基礎・地中梁要
	使用材料	コンクリートブロックの強度または種別		昭和54年改定以前のJISの圧縮強さによる区分		昭和54年改定以降のJISの圧縮強さによる区分		コンクリートブロックの種別(呼称)	fn(N/mm ²)	Fc18以上
<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 旧A種 <input type="checkbox"/> 旧A種以外 (※コンクリートブロックの強度種別が不明な場合は建設年代により判定)		A種		—		旧BA種	2.5			
		B種		—		旧BB種	3.9			
		C種		—		旧BC種	5.9			
基礎・臥梁コンクリート強度 (Fc)		—		A種(または08)		A種	4			
<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> Fc18未満 <input type="checkbox"/> Fc18以上 ()		—		B種(または12)		B種	6			
使用鉄筋種別：鉄筋径		—		C種(または16)		C種	8			
使用鉄筋種別	<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> SR235 <input type="checkbox"/> SR295 <input type="checkbox"/> SD295 <input type="checkbox"/> SD345 <input type="checkbox"/> その他種別 (鉄筋径により複数種別使用)								鉄筋径:端部12mm以上	
使用鉄筋径	(端部・隅部) <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 12mm未満 <input type="checkbox"/> 12mm以上 (壁内) <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 9mm未満 <input type="checkbox"/> 9mm以上								鉄筋径:壁内9mm以上	

法令・設計基準	評価項目								摘要条件・判断基準	
	階高さ	<input type="checkbox"/> 3.5m以下 (平屋の場合4.0m以下) <input type="checkbox"/> 3.5mを越える (平屋の場合4.0mを越える)							3.5m以下	
	*軒より棟までの高さ	※屋根版がRCスラブ屋根の場合のみ対象 <input type="checkbox"/> 対象外 <input type="checkbox"/> 1.5m以下 <input type="checkbox"/> 1.5mを越える							1.5m以下	
	臥梁	<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 臥梁なし <input type="checkbox"/> 臥梁あり (または、平屋でその頂部に鉄筋コンクリート床版がある)							臥梁あり	
	臥梁の幅	<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 必要幅無し <input type="checkbox"/> 耐力壁の厚さ以上、かつ有効な幅は水平支点間距離の1/20以上かつ200mm以上							臥梁の幅適用	
	臥梁の幅の計算	※ (最長壁長さ) / 20 かつ 200mm以上								
	<div> </div>								B : 臥梁の有効な幅 b : 臥梁の幅 a : 臥梁のせい t : フランジ厚さ t : 150mm以上 (平屋では120mm以上)	
	耐力壁の中心線に囲まれた水平投影面積	1階	<input type="checkbox"/> 60㎡以下 <input type="checkbox"/> 60㎡を越える区画あり			2階	<input type="checkbox"/> 60㎡以下 <input type="checkbox"/> 60㎡を越える区画あり		60㎡以下	
		最大区画で計算								
	耐力壁の長さ	階・方向	必要壁長さ	方向別壁総長さ計算			階・方向	必要壁長さ	方向別壁総長さ計算	15cm/㎡以上 必要長さ<壁総長さ
		1階 (X方向)	床面積 × 15cm				2階 (X方向)	床面積 × 15cm		
		1階 (Y方向)					2階 (Y方向)			
	耐力壁の厚さ	階・方向	壁厚さ	必要壁厚さの計算 (最長壁で計算)			階・方向	壁厚さ	必要壁厚さの計算 (最長壁で計算)	15cm以上 水平距離の1/50以上
		1階 (X方向)					2階 (X方向)			
		1階 (Y方向)					2階 (Y方向)			

法 令・ 設 計 規 準	<div> <div> <p>耐力壁による区画と水平支点間距離</p> </div> <div> <p>耐力壁の長さの計算 (La+Lb+Lc+Ld)</p> </div> <div> <p>有効な耐力壁</p> </div> </div>			連続した布基礎
	<div> <div> <p>耐力壁に囲まれた水平投影面積の考え方</p> </div> <div> <p>基礎</p> </div> </div>	<input type="checkbox"/> 連続した布基礎または地中梁のある基礎形式 <input type="checkbox"/> 布基礎または地中梁のある基礎形式以外		
判定	<input type="checkbox"/> 不適合部分がある <input type="checkbox"/> 不適合部分があるが長寿命化検討要 <input type="checkbox"/> 現行基準に適合している	→ 長寿命化対象外 → 現況調査の実地 → 現況調査の実地	評価 (不適合部分等)	

2. 現地調査 (現状、構造体の劣化・不具合状況)

現 状 ・ 健 全 性 ・ 劣 化 ・ 不 具 合	評価項目				摘要条件・判断基準
	被災履歴	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	被災状況		構造体の損傷が無い (的確な補修の履歴)
	火災履歴	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	火災状況		構造体の損傷が無い (的確な補修の履歴)
	周辺地盤の状況		<input type="checkbox"/> 陥没、沈下が確認できる <input type="checkbox"/> 急傾斜地に近い (急傾斜下、急傾斜上) <input type="checkbox"/> 平坦で急傾斜地から離れてる		平坦で急傾斜地から離れて いる場合以外は適用外
	不同沈下 (基礎傾斜の最大値)	外周部	<input type="checkbox"/> 1/500未満 <input type="checkbox"/> 1/200未満 <input type="checkbox"/> 1/200以上		1/500未満
		内部	<input type="checkbox"/> 1/500未満 <input type="checkbox"/> 1/200未満 <input type="checkbox"/> 1/200以上 <input type="checkbox"/> 不明		1/500未満
	臥梁のたわみ・傾斜 (傾斜の最大値)	外周部	<input type="checkbox"/> 1/500未満 <input type="checkbox"/> 1/200未満 <input type="checkbox"/> 1/200以上		1/500未満
		内部	<input type="checkbox"/> 1/500未満 <input type="checkbox"/> 1/200未満 <input type="checkbox"/> 1/200以上 <input type="checkbox"/> 不明		1/500未満
	壁体の傾斜	—	<input type="checkbox"/> 1/500未満 <input type="checkbox"/> 1/200未満 <input type="checkbox"/> 1/200以上		1/500未満
	凍害 (R C部)	—	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (表面程度) <input type="checkbox"/> あり (断面欠損)		表面程度以下の損傷
	凍害 (C B部)	—	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (表面程度) <input type="checkbox"/> あり (断面欠損)		表面程度以下の損傷
	鉄筋発錆 (R C部)	—	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (錆汁) <input type="checkbox"/> あり (鉄筋露出)		※かぶり厚さと中性化は 同位置で判定
	鉄筋発錆 (C B部)	—	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (表面発錆) <input type="checkbox"/> あり (断面欠損)		同位置で判定
	鉄筋かぶり厚さ (R C部)	—	<input type="checkbox"/> 2.0cm以上 <input type="checkbox"/> 2.0cm未満1.0cm以上 <input type="checkbox"/> 1.0cm未満		2.0cm未満は以降の耐用 年数を考慮し適用外
	鉄筋かぶり厚さ (C B部)	—	<input type="checkbox"/> 2.0cm以上 <input type="checkbox"/> 2.0cm未満1.0cm以上 <input type="checkbox"/> 1.0cm未満		年数を考慮し適用外
	中性化 (R C部)	—	<input type="checkbox"/> 1.0cm未満 <input type="checkbox"/> 1.0cm以上2.0cm未満 <input type="checkbox"/> 2.0cm以上		1.0cm以上は以降の耐用 年数を考慮し適用外
	中性化 (C B部)	—	<input type="checkbox"/> 1.0cm未満 <input type="checkbox"/> 1.0cm以上2.0cm未満 <input type="checkbox"/> 2.0cm以上		年数を考慮し適用外
	強度 (コンクリート)	圧縮強度	圧縮試験強度 (平均圧縮強度: N/mm ²)		設計基準強度以上
	ひび割れ (基礎)	外周部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上		0.3mm未満
		内部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上 <input type="checkbox"/> 不明		0.3mm未満
ひび割れ (臥梁)	外周部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上		0.3mm未満	
	内部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上 <input type="checkbox"/> 不明		0.3mm未満	
ひび割れ (C B 壁体)	外周部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上		0.3mm未満	
	内部	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上 <input type="checkbox"/> 不明		0.3mm未満	
目地割れ	—	<input type="checkbox"/> 0.3mm未満 <input type="checkbox"/> 0.3mm～1.0mm未満 <input type="checkbox"/> 1.0mm以上		0.3mm未満	
<div> <div> <p>目地割れ</p> <p>ひび割れ(組積体)</p> <p>ひび割れ(基礎)</p> <p>ひび割れ(臥梁)</p> <p>ひび割れ(組積体)</p> </div> <div> <p>開口から貫通したひび割れ</p> </div> </div>					
判定	<input type="checkbox"/> 構造耐力上の疑問がある <input type="checkbox"/> 構造耐力上補修・補強の対応可能 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の問題は無い	→ 長寿命化対象外 → 長寿命化対象 → 長寿命化対象	評価 (耐力上の問題等)		

3. 総合判定

判定	<input type="checkbox"/> 長寿命化の対象外 <input type="checkbox"/> 長寿命化の対象建築	評価理由
----	---	------

調査報告書					
施設名称 ：					
調査者 ：					
大項目	項目		基準値等	調査結果	考察
材料 劣化	構 造 軀 体	強度	平均値が F_c 以上		
		中性化深さ (外壁)	耐用年数+20年時点で 屋外 $C_i < D_d$ 屋内 $C_i < D_d + 20$ C_i ：測定した中性化深さの平 均値 (mm) D_d ：鉄筋のかぶり厚さ (mm)		
		塩分濃度	耐用年数+20年時点で C_{lim} 以 下 C_{lim} ：腐食発生限界塩化物イ オン量 (kg/m^3)		
		コンクリートのひび 割れ及び欠損・剥落	鉄筋腐食やアルカリ骨材反応 を原因とする、 または構造上の問題に起因す るひび割れ及び欠損・剥落が 生じていない。		
構造 不具合	建物の沈下		変形角が $1/500$ 未満		
	壁あるいは柱の傾斜		$1/500$ 未満		

外観目視 調査結果 (屋上を含む)	
-------------------------	--



【税法上の耐用年数を超えた使用に関する考察】

別記様式 2

機能性向上等調査シート							
施設名称 : 調査年月日 : 調査者 : 保全担当者 :							
優先度	項 目	機能性区分			概算額 (千円)	整備の必要性	備 考
		向上	維持	回復			
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							

長寿命化診断シート

施設名称 :

施設用途 :

【耐力度判定】

☐ 新築時の耐力を有している☐ 新築時の耐力を有しておらず
改修工事も見込めない

劣化の遅延又は回復のための改修が必要か

☐ 必要なし ☐ 必要

建替又は用途廃止

【長寿命化判定】

☐ 改修工事の必要なし☐ 長寿命化に向けた改修が必要で有り執務並行型改修が可能☐ 長寿命化に向けた改修が必要だが工事が執務並行型改修ができない執務並行型改修が
できない理由

【長寿命化診断】

☐ 現状維持のまま長寿命化が可能☐ 長寿命化改修を実施することで長寿命化が可能☐ 長寿命化に適さない

診断年月日 :

診断担当者 :